

## 物流拠点構想策定について

### 1 策定の目的

近年、Eコマース市場の急拡大や人材不足に直面する物流業界においては、デジタル化やロボット化等による作業効率化に加え、BCPや脱炭素の観点から輸送手段の最適化（モーダルシフト）や物流拠点の再配置等の動きが加速している。

本州と九州の接点に位置する本市は、交通の要衝であり、陸・海・空の交通網が充実している。道路（九州自動車道・東九州自動車道・北九州都市高速道路・都市計画道路等）、国際拠点港湾である北九州港、24時間利用可能な北九州空港、鉄道（九州と本州を結ぶ全ての貨物列車が停車するターミナル駅）など、物流を支えるインフラが整っている。さらに、北九州空港の滑走路延長に向けた国の調査や多様な物流拠点を結びつける重要な道路である下関北九州道路の国の調査も進むなど、本市の物流拠点としてのポテンシャルが更に高まっている。

そこで、本市の物流拠点都市としてのプレゼンスを向上させるため、「物流拠点構想」を策定することとする。

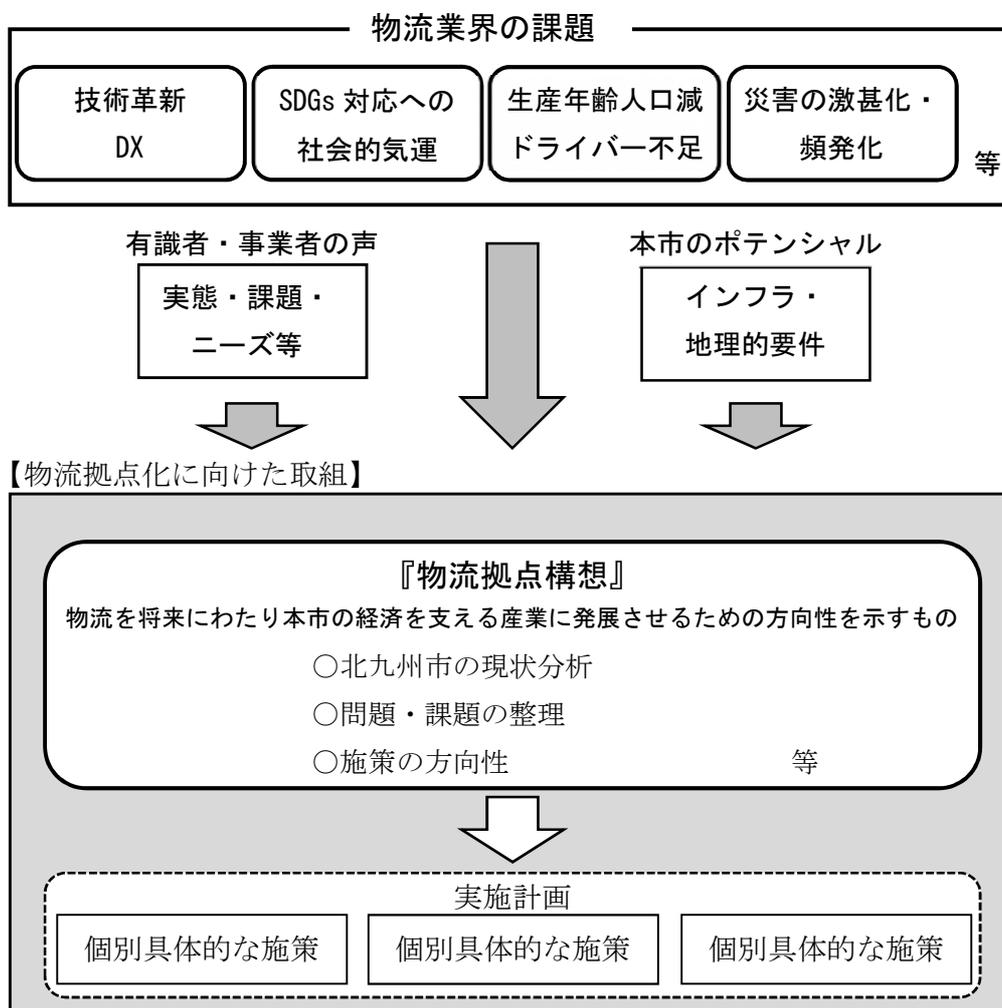
### 2 策定の内容

- ・ 新たな社会経済情勢（Eコマース市場の急拡大、脱炭素社会への対応、トラックドライバーの時間外労働の上限規制等）の動向を把握
- ・ 時代の変化に対応できる本市のポテンシャル（陸・海・空の物流インフラ、地理的要因）の明確化
- ・ 物流業界の現状（全国・本市）や課題を整理
- ・ 物流事業者（トラック運送、JR貨物、内航海運、航空貨物、倉庫業等）及びメーカー等に実態・課題・ニーズをヒアリング
- ・ 物流業界に精通する有識者に物流業界全体の動向、本市の目指す方向性等についてヒアリング



- ・ 上記を踏まえ、本市の更なる物流拠点化への方向性を示す
- ・ 並行して具体的な施策も検討していく

<構想策定イメージ>



### 3 検討体制

- ・ 構想は、副市長をトップとし、関係局長で構成する「物流拠点構想策定委員会」を設置して検討（産業経済局、企画調整局、建設局、建築都市局、港湾空港局ほか）
- ・ 委員会の下に関係課長で構成する連絡会を設置
- ・ 有識者や物流事業者へのヒアリングを適宜実施
- ・ 事務局は産業経済局物流拠点推進室

### 4 検討スケジュール

- ・ 構想は、令和3年第3四半期を目途に方向性をとりまとめる予定
- ・ 構想策定後、当面5年間程度の取組を「実施計画」として策定